

NO INNOVATION, NO LIFE.



NORIDOMI IRON WORKS
since 1948

株式会社 乗富鉄工所

T832-0806 福岡県朝倉市三橋町柳河934-4
TEL : 0944-73-6177 <http://www.noritetsu.com/>

Do You Know 鉄工所?



鉄工所は進化していく

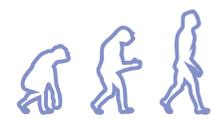
～町工場からイノベーションの発信基地へ～

鉄工所1.0 >> 1950'~1980' 鍛え抜かれた職人集団



知識 × 技能 = 職人技

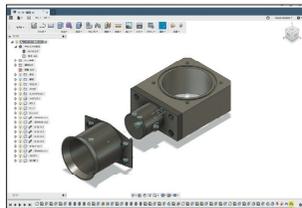
鉄工所とは、金属を加工して製品を作る工場のこと。あまり馴染みがないかもしれませんが、戦後の日本では町工場と呼ばれる小さな工場、ときには町の便利屋として、ときには大企業の下請として、高度成長期の日本の発展を陰で支えてきました。当時の職人たちは、設備などが不十分な中でも、研ぎ澄まされた知恵と技能を武器に切磋琢磨して腕を磨いていきました。



鉄工所2.0 >> 1990'~2010' 機械と職人技の融合

職人技 × 新技術 = 創造力

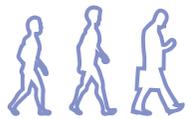
時は流れて、21世紀。溶接ロボットや数値制御工作機械、3次元CADなどの登場によって、手溶接から自動溶接へ、アナログからデジタルへ、鉄工所のものづくりは大きく変わりつつあります。さらに、鉄工マンたちがこれまで培ってきた職人技と新技術を組み合わせ、従来よりも高品質なものが、効率的に作れるようになりました。また、安全衛生管理の考え方も普及し、かつて3Kと言われた過酷な労働環境も今ではずいぶん改善されています。



鉄工所3.0 >> 2020'~ イノベーションの発信基地 ~さなぎから蝶に変身!~

創造力 × 想像力 = イノベーション

そして今日。世の中は先端技術で溢れるようになりました。スマートフォンが当たり前になり、さらには3Dプリンターにドローン、自動運転、人工知能。今こうしている間にも、技術の進化によって生み出された新たな価値が次々に世の中に送り出されています。かつて「特別」だった高価な機械も安くなり、「技術」だけでは差が付きにくい時代に入りました。



設備だけを比べれば大企業と町の鉄工所の隔たりが小さくなり、日本のものづくりは「知恵の時代」を迎えています。使える技術の自由度がかってないほど大きくなった今、鉄工所から生まれる小さなアイデアは、大きく羽ばたく可能性を持つようになりました。

アイデア次第で町の鉄工所から

世界を変えることができる、

当社は従来の殻を破り、社会に新たな価値を生み出す企業へと今まさに脱皮しようとしています。

業界も、分野も、技術も限定しない。70年間の歴史の中で培った創造力と、70人の社員の想像力を武器に、

それが、これからの乗富鉄工所が目指す、「鉄工所3.0」です。



挑戦は今、始まったばかり。大きく羽ばたく原動力になるのは、あなたのソウゾウリョクかもしれません。



SUPPORT
支える

鉄工所は暮らしを支える

21世紀は“環境の世紀”だと言われています。
私たち乗富鉄工所は、地域の人々が快適に暮らせる環境を守り、
整えるための多くの設備を手掛けてきました。
目立たないけれど、私たちの生活になくてはならないもの。
これまで、これからも、乗富鉄工所は日本の暮らしを支えます。

●●● 製作・据付工事から点検・整備・補修工事まで ●●●

クリーンセンター (ゴミ処理施設)



超高温処理により、有害物質を発生させません

カントリーエレベーター (穀物貯蔵施設)



米・麦・大豆を乾燥、貯蔵します

建設用機械



建設工事の必需品です

●●● 設計・製作・据付工事から保守・点検・整備および修理工事全般 ●●●

水門



河川の水をコントロールして利水と治水に役立たせる水利施設です

水管橋



農業用水、飲料水、工業用水などに配水する鋼製パイプ橋です

除塵機



揚排水場のごみを取り除きます

>> Do You Know 水門?

水門は、河川の水の流れをコントロールすることで、大雨などの災害から地域を守ったり、農業用水を確保したりと私たちの生活に欠かせない設備です。
ここでは古くなった水門を付け替える工事を例に、受注から完成までの流れをご紹介します。



1. 営業

始まりは仕事を受注するところから

私たちの仕事は、官公庁の発注する工事を受注するところから始まります。営業担当は工事の受注に向けて情報を仕入れ、工事原価を見積もり、社内で戦略を練って入札に臨みます。入札に臨むためには日々の情報収集力と、工事に関する幅広い知識が求められます。



2. 設計

ひとつひとつの現場にあわせた設計

製作予定の物の設計図を作るのが設計担当の仕事です。水門を据付ける現場に行って事前調査を行い、そこで得たデータをもとに図面を作成します。現場の状況は場所によって全て違うので、様々な制約がある中でいかに現場に適した、オリジナルのある設計ができるかが設計者としての腕の見せ所です。



3. 調達

材料、建設機械、人の手配

図面をもとに材料を手配するのが調達担当の役目です。材料以外にも、据え付けで使用する大型のクレーンや、協力業者の手配なども行ないます。工事ごとに工期は決まっていますから、品質・コスト・納期の三要素のバランスを考えながら手配を行ないます。



4. 工場製作

材料を組み立て、製品にする

納品された材料を工場内で加工し、溶接して製品の形にしていきます。公共工事の多くはオーダーメイドとなるため、1件1件図面を読み、効率的な作り方を考えなければなりません。このため、一つの機能を極めた職人ではなく「ものづくりの総合力に優れた技術者」であることが求められます。



5. 品質管理

生産を管理し、品質を保証する

出来上がった製品はすべて、品質管理課の検査を受けます。製品が図面の寸法通りに作られているのか、傷や細かなひび割れがないかなどをチェックし、万が一問題があればすぐに手直しをし、二度と同じ問題が起こらないよう再発防止策を検討・実施します。水門は完成して何年、何十年と水流や風雨にさらされるので、品質管理は非常に重要です。



6. 据付工事

製品を現場で据付

製品を現場へ輸送し、据付を行ないます。据付け作業は失敗が許されない発勝負。搬入ルートや吊り手順の確認、作業分担、安全対策など、入念に計画・準備をしてから本番に臨みます。大きな水門を一気にクレーンで据え付ける様子は圧巻です。



after!



こうして完成した水門は最終検査を経て引渡しが行なわれます。その後数十年間の長きにわたって地域の安全や産業を支え続けていきます。

鉄工所と生きる

創業1948年

年商13億円(2017年度)

資本金3000万円

ISO9001認証

年間休日113日

平均残業時間10時間/月

有給休暇奨励日

年間賞与
3.4ヶ月(2017年度)

住宅手当

社内サークル

社員数 70名

男女比 男性89%, 女性11%

福岡、佐賀に4つの拠点(本社・工場、宮永工場、佐賀営業所、佐賀出張所)



>> Do you know

柳川?

柳川川下り 堀割をどんこ舟で回る「川下り」は、船頭の舟歌と心地よい水音を聞きながら、のんびりとした時間が過ごせますよ。

御花 1738年柳川藩五代藩主の立花貞柳は、政務の疲れを癒し家族と和やかな時を過ごすため、「御花島」といわれる地に別邸を築きました。明治時代、立花家は伯爵となり、御花島の邸宅も新築され、洋館と和館が並び立つ新しいスタイルの立花伯爵家住宅が完成しました。終戦後もまもなく、御花は新たに「料亭旅館 御花」として再出発を果たし、現在では水郷柳川の観光の拠点として、また、大名文化を今に伝える文化施設として親しまれるようになりました。

北原白秋生家・記念館 北原白秋は明治から昭和初期に活躍した近代日本を代表する詩人です。「雨ふり(雨雨フレフレ)」、「待ちぼうけ」、「からたちの花」など聴いたら誰もが知っていて、今なお、愛される作品を数多く残した白秋は、柳川で生まれ育ちました。

柳川ひまわり園 有明海に面した干拓地に広がる、大輪のひまわり園は迫力満点! 青い空と一面に広がる黄色のコントラスト、夜のライトアップの幻想的な風景など、多彩な表情が楽しめます。

やながわ有明海水族館 柳川のクリーク(水路)にいる身近な魚から、外国の古代魚まで約90種が幅広く展示されている「やながわ有明水族館」は、学生ら6人でつくる環境団体「有明海塾」が運営している大変ユニークな水族館。館長は魚に対する知識と情熱で「九州のさかなクン」と呼ばれています!写真は柳川市観光アイドル「さげもんガールズ」と九州のさかなクン。

鉄工所で育つ



モノづくりの先頭バッター

持前の人当たりのよさを武器にどんな仕事をとってくる営業部のホープ。「家具補助制度ができたので、一人暮らしを始めました。会社が近くなったので、仕事帰りに気の合う同僚と飲みに行ったりしています。」

若林耕平
Kohei Wakabayashi
営業部 営業一課



なんでもできる男になる。

成長目覚ましい若手の有望株で、特に溶接技術には定評がある。プライベートでは1児のパパ。「休みが多いので、しっかり家族サービスできるのもいいですね。ボーナスも入ったので、年末は家族で遊びに行きたいと思います。」

峯松英明
Hideaki Minematsu
製造工事部 本社一課

工事には毎回新しい発見がある

当社では公共工事や民間工事など、様々なお客様に向けて仕事をさせて頂いていますが、私は現在、官公庁のお客様に向けて公共工事の営業を行っています。営業マンではありますが、ただ仕事をとってくるだけでなく、主任技術者や現場代理人として、工事実施全般の管理業務を行うことも多くあります。また、その内容は施工する地域・環境・現場状況によってさまざまですがまったく同じ工事は二つとないため、毎回新しい発見があり、新しいもの・新しい人との出会いが生まれます。

プロの先輩がいるから、思いっきり仕事できる

どれだけきちんと計画しても、現場は生き物。想定外の問題が発生することもあります。そんなときにはそれぞれの分野のプロフェッショナルである先輩方がきちんとフォローしてくれるので、思いっきり仕事をすることができます。正直先輩方の知識や技術力が濃すぎて、「自分には無理じゃないか」と思ったこともあります。たくさんの方に協力し、失敗も含めていろんな経験を重ねてきたことで、3年半経った今では、楽しい仕事ができている。



ものづくりの最前線

私が所属する製造工事部本社一課では、主に公共工事の製作・据付・点検などを行っています。「公共工事」と一言でいってもその中身は多種多様。15mを超える巨大な水門を作ることもあれば、片手で持てるようなポンプの整備を行うこともあり、機械加工・製缶・溶接など求められる知識と技能は多岐にわたります。ものづくりの最前線であり、自分が作ったものが製品として形になる瞬間は、何度経験してもいいものです。



昔から手先が器用で、ものづくりに興味がありました。本社1課の仕事のほとんどはオーダーメイドに近いもののため、毎回図面を見ながらどうやって作りたいか考えなければならぬですし、求められる技術も幅

なんでもできる男になろう

広いため、ものづくりの総合力が鍛えられます。さらにお客様と直接技術的な話をすることもあるため、先輩方の中には「なんでもできるんじゃないか」と思えるようなすごい人もいて、日々ものづくりの奥深さを学んでいます。また田舎だからなのか、あつからんとした人が多くて人間関係が良好なのも働きやすさと感じます。

ある日のスケジュール

- 7 現場到着、安全ミーティング
- 8 出社、メールチェック。朝礼で1日の活動計画を報告
- 9 ネットと新聞で発注情報のチェック見積書作成
- 10 客先で仕様の打ち合わせ後、担当工事の現場を確認
- 11 移動、帰宅
- 12 移動、帰宅
- 13 気になっていた市役所近くの定食屋さんでランチ
- 14 事務所で図面を見ながら、水門の製作手順の検討
- 15 工場へ水門の製作
- 16 会議議事・見積書作成
- 17 退社
- 18 退社
- 19 退社

先輩からのメッセージ

まったく違う分野の仕事をしていて私も、3年半経った今では大きな仕事も任せられるようになりました。学ぼうという姿勢さえあれば、仕事はどんどん楽しくなってくるはず。あなたもプロ集団の一員になって、一緒に頑張ってみませんか?



先輩からのメッセージ

昔は「技術は見て盗め」というのが普通だったと思いますが、今の乗富鉄工所の先輩たちは、分らないことはきちんと説明してくれるので安心です。やる気がある人には、若いうちからいろいろな仕事をさせてもらえる会社でもあるので、チャレンジ精神旺盛な人にはぴったりだと思います。

